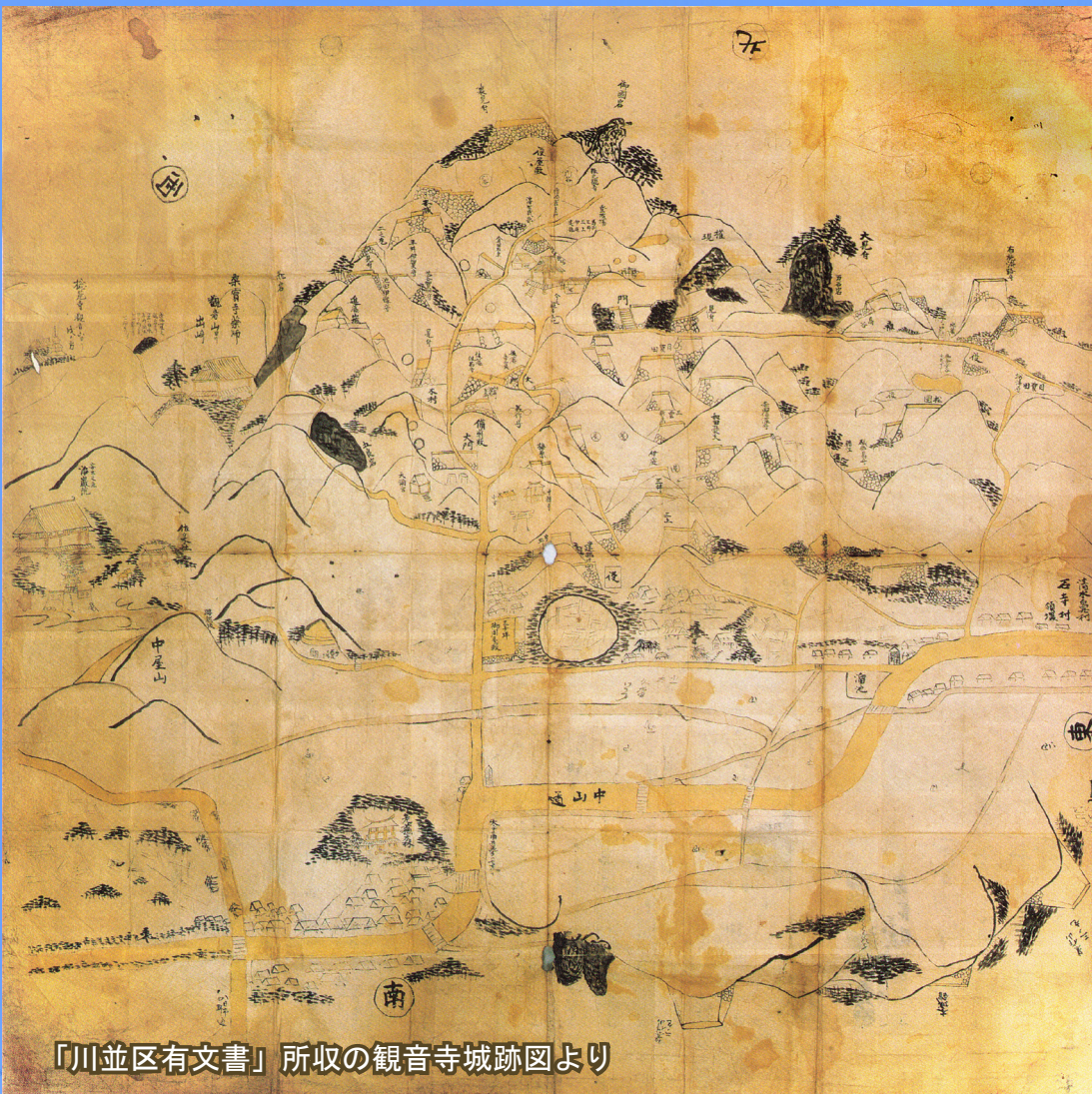


観音寺騒動で謀殺された、悲運の重臣

後藤賢豊とその邸跡



『川並区有文書』所収の観音寺城跡図より

大永3年(1523年)、当時の六角当主「定頼」は観音寺城内に家臣団の邸を築くための改修を命じ、これを機に観音寺城は、軍事よりもむしろ政治拠点としての意味合いが強まりました。この絵図を見ると、その独自性の一端を見る事ができます。例えば、大手道と伝わる幹線は何故か「本丸」には向かず、家臣の邸が集まる山頂方向に延びており、家臣団のために用意された道のようにも見えます。これは、家臣優先の城づくりを行う事により、体制の一体化を目指したのかもしれませんが。

そして賢豊はこの道沿いに総石造りの壮大な邸を構え、当主を凌ぐほどの権勢を振りました。(伝承)

観音寺騒動で、主君である六角義治に謀殺された後藤賢豊は、中羽田町の後藤館の他、雪野山城と佐生城を構え、観音寺城内にも邸を構えていました。それぞれ居館、軍事拠点、政治拠点として役目を担っていました。なかでも観音寺城内の後藤邸はその規模さもさることながら、総石垣造りの豪華さは、別格であると言えます。大手道を山の中腹あたりまで登ると荘厳な後藤邸の石垣な目に飛び込んできます。道筋を見下ろすその威厳ある姿に圧倒され、敵方でも身構えてしまいそうです。



背景画像 伝後藤邸下段の石垣

新幹線からは見えない
観音寺城の「のぼり旗」

観音寺城

観音寺 後藤邸

城内の
伝大手道(本谷)沿いに今なお残る、
石垣で守られた広大な邸跡

澤田丸 三国丸

本丸

馬淵丸

三井丸

伊庭丸

大見付

布施
淡路丸

新藤

後藤

観音寺

平井丸

池田丸

伝後藤邸は、林道と伝大手道との
交差点の北、約百メートル先。
本谷交差点

伝大手道

伝追手道

林道

背景画像出典：余湖コレクション



後藤邸の埋門



進藤邸との間の通路



後藤邸の中央通路



郭内部の石垣



郭内部の石垣



郭内部の石垣



郭内部、西通路側一埋門のある石垣



伝後藤邸下段の石垣

撮影 2022/5/22



伝後藤邸中段の石垣

撮影 2023/12/25



伝後藤邸の石垣を最下段から見上げる

撮影 2023/12/25